

R18

普独

棘



生まれて間もない頃
兄はよく
本の読み聞かせを
してくれた



特に俺が生まれる前に
グリム兄弟が編纂したという
『子供と家庭のための昔話集』は




「ドイツが国としてまとまる
一助にもなったものだからと
何度も繰り返し聞きかせてくれた

物語を紡ぐ兄は
普段からは
考えられないくらい
静かで優しい

俺は
その声が好きだった



そうしてー



二人は俺様の
大活躍のお陰で
永遠に幸福に
暮らしました

どうだ

面白かっただろ
俺様が
筋力で解決する
グリム童話!

ああ…

筋肉が大事だと
いうことは
よくわかった

だが

何度も同じ話を
読んだからと言って

話に兄さんを介入させて
強引にハッピーエンドに
持ち込むのは
どうかと思う…

そうか？

自力でラプンツェルの
居る塔に登る俺様

俺様の素晴らしい
武勇伝と童話を
同時に楽しめる
いい案だと思ったんだが

確かに
兄さんの活躍は
面白くは
あったが…

物語も
尊重しなくては
いけないと思うぞ

うぐ…

あっ
でもよ!

俺様がいたから
今のグリム童話があると
言っても過言じゃ
ないんだぜ?

?
?
? どういう
ことだ

だって一番最初に

出版されたのを

読み聞かせ

したときなんか

エロ…いや文章が
ひどすぎて最後まで
読めたもんじゃ
なくてよ

すぐに
俺様を書き直させて
グリム兄弟宛に
抗議ぶ…手紙を書いて
やったわけだ

…え

つまり
俺様のアドバイスを
素直に聞いたお陰で
今や大ベストセラー
になったわけだ!

な?
すげーだろう?

えへん

しん...

...

アレ
...ヴェスト?
聞いてたか?

...眠くなったのか?

いや...あの

俺もその
最初に出た時の
グリム童話を
読んでみたいと
思ってた...

ああ?

...あ

ダメダメ!
お前はあんなの読む
必要ねえって

それにもう
家に残ってないし...!

...そうか

...



俺の生まれる前
俺の知らない時間
俺以外の誰か

兄さんは
誰のために
童話を読んで



誰のために
その手紙を
書いたのだろう



その時
飲み込んだ疑問は

朝には意識から
消えてしまったが

抜けない

小さな棘のように
今でも胸の奥に残ったまま

時折痛んでは
俺に焦燥を与える



きつかけは
兄のひとりから
贈られた本だった

兄さん

……
部屋で本を
読んでくれないか







兄さん!?

おい

ドッ!!



俺は本を
読んでほしいと…

ちょっと待て
何をする気だ



コッチの
お誘いじゃ
ねえの??

俺てっきり…

えっ



エロイことしか
考えてなかった
罪悪感

...

.....いや

ま...まあ
カンチガイ
したの
俺様だし...

確かに俺としたことが
甘えた発言だったな
...すまなかった
かくわそ

週末でもないのに
悪かったな
待ってろ
ちゃんと
本読んでや...

サッ

ヴェスト...?

うおっ
く
い









俺様が
スケベなせいで

こんな事に
なっちゃったん
だもんな



そっか

ヴェストは
本を読んでほしいって
言ってたのに



今だって

めっ
めっ

ココを
全部

俺ので
いっぱい
することしか
考えてない



ダメな兄貴で
ごめんな?

ああ...

バカみたいだ

嬉しい

結局
俺は

兄に抱かれた
かったんだ

兄さんが
俺だけに見せるはずの
兄の顔を

他の誰かに
向けたかもしれない
事への微かな嫉妬

小さな棘は

今では
肥大した
独占欲となつて



……ダメ
じゃない

おれも

おくまで
いっぱい
欲しい……

優しいだけの
寝物語では
満たされない





あっ
当たって...

あ...

ほあっ

さ...
ききぢぢ

あっ
んああっ

ヴェストは奥ハメラれんの好きだもんなあ



あっ

ちんぽ

あっ
あっ

ヴェスト...!
たまんねえ

く...
すげえ
締まる...

ああ



…ああ

兄さんが



今は

俺だけを見てる

これが

昔兄さんに
読むと言われた
初版グリム童話だ

全2巻の
1冊目

生誕二百年の
記念レプリカで
プレミア付き

州の兄さんから
早めのクリスマス
プレゼントで貰った

はあ？

マジか
誰からだ？

ゆせいの
ゆせいの

ヘッセン？
フレイメン！

まさかの
バイエルン!!?
知らねえやつから
モノもらうなって
言っただろ!?

言うわけ
ないだろう

兄さんほうきいし
知ってる人からだし

で

折角だし
昨日兄さんにも
読んでもらおうと
思ったんだが

ああ
昨日
それで…



初版を兄さんが
禁止した理由も
わかった



些細な描写だが

ふ、不健全な行為を
子供に説明するのは
難しいからな



初めてグリム童話を
読んでもらった時

いつも
騒がしい兄さんと
あまりにも
違うから

懐かしい…

驚いて逆に
目が冴えたのを
覚えている

えー？
そうだけ…



だろお？

まあ…今現在
ガッツリ手出してる
俺様が言うのも
何だけどさあ！

……ケセセ

笑えんぞ



本当は
確かめるのが
怖いかもしれない

兄さんは
今でも
この本を

懐かしそつに
読むのだろうか

俺じゃない
「誰か」を
思い出して



ヘタリアWS187話からのグリム童話事件に???ってなったのを
なんとなく取り入れたものを描こうと思いましたが、
あんまり触れず雰囲気漫画になりました。ドイツ誕生周りは闇案件……。
コミックに収録された時にどう修正されているか気になります。

ドイツ(小)が出ている本にエロシーンを描いてしまって展開の温度差と
罪悪感が半端なかったです。

ちなみに個人的普独正史(原作を読んでの勝手な妄想)では
ドイツさんは兄さんに対して絶対的信頼および激二ツを発揮するので、
兄が自分以外の誰かとの親密さを匂わせても
(兄さんは昔から面倒見がいいんだな)とかで納得するかもしれない。
嫉妬する時は堂々と嫉妬します。めへるばにや～的な意味で。

今回のドイツさんと兄さんは、暑苦しいくらい出来上がってるので、
ちょっとドイツさんが依存度がちょっと激しくて女々しい。
兄さんの色んな意味での兄さんは、全部自分に向けられてないと気が済まない。
そして兄さんはどの兄さんでもドイツさんをめっちゃ愛してます。

読んでくださってありがとうございました！

棘

発行:2016/12/30

ルートビア/CoQ10

印刷:太陽出版株式会社

禁/無断転載・アップロード・ネットオークション

E-mail/zyme@myad.jp

Pixiv/3623622

この本はヘタリアの二次創作であり、フィクションです。
実際の歴史・国家・軍・団体・原作及び各版權元様とは一切関係ありません。

